



日産合成工業株式会社 メールマガジ

2020・4 第159号



寒さに耐えていた桜の蕾もほころび、春爛漫の季節を迎えました。そんな中、3月29日に都心では3月下旬の積雪としては32年ぶりとなる雪に見舞われ、桜隠しの雪景色となりました。その昔、汐留が再開される前の空き地で、イルカの野外フェスがあり、「車を待つ君の横で僕は 時計を気にしてる 季節はずれの雪が降ってる 東京で見る雪はこれが最後ね」の歌詞で知られる「なごり雪」を歌っていたなあと思い出しました。通勤するたびにバスの窓から眺める目黒

川沿いの桜並木は、都内でも屈指の名勝地ともなっています。季節になると川沿いには提灯が掲げられ、屋台が並び、それはそれは賑やかな風景になっていました。しかし、今は新型コロナウイルスの影響で、愛でる人も少なく、閑散としていました。



4月7日には七都府県を対象にした緊急事態宣言が発表される事態となり、これまでとは様相が一変してしまいました。弊社でも在宅勤務、勤務時間の短縮やシフト制の大胆な導入で、この危機を乗り越えようとしています。緊急事態宣言の地域外に住んでいる私ですが、それでもたびたび利用している当地の図書館は、赤文字の休館のお知らせで彩られています。人出も少なく、商売あがったりの厳しい情勢が伝えられていますが、どうか持ちこたえて頂けることを願うばかりです。

人や動物は昔から細菌やウイルスの感染症に脅かされてきました。人類の歴史は感染症との戦いであったのかもしれませんが、注意深い観察と探求心、英知で解決の糸口をつかんできました。また近年のゲノム解析や情報統合科学の著しい進展により、この新型コロナウイルスの正体をいち早く明らかにしつつあります。ウイルスですからワクチンが開発されましたら発症患者数は激減すると思われませんが、ワクチンそのものの効力と安全性評価にはしばらく時間が必要であろうと考えます。そのためにも、今はじっとしていることが、命を守る上で一番だと言えます。

話は変わりますが、「英国王のスピーチ」との歴史映画があります。吃音に悩まされたイギリス王ジョージ6世と、その治療にあたった言語療法士との友情の史実を基に描いた作品です。1925年、博覧会閉会式で国王の名代として演説は吃音のためもあって、不評に終わりました。言語療法士との出会いと葛藤などがありましたが、第二次世界大戦は避けられないとの事態に際し、国民に語りかける気持ちのこもった演説は、国民の共感をよび、心のよりどころとなったことを描いたものです。巧言令色鮮（すくな）し仁とならないことを自戒にと思います。

さて、ニッサンメールマガジン第159号をお届けします。

子牛死亡損失の「なぜ」を理解することが重要です

肉用牛における子牛の損失は、多くの場合、母牛の栄養状態の影響を受ける難産や疾病に起因します。牛を良好な状態に維持し、清潔な環境で子牛を飼育することは、子牛の死亡損失を最小限におさえるポイントとなります。米国では出生時または生後 21 日以内に子牛の約 2%が死亡し、引き続き離乳期までにさらに 2%死亡しています。これらの数値は数十年来変わりなく、その早急な対策も必要とされています。難産は死産の可能性も高く、生まれてきても脆弱で、起立して自ら初乳を哺乳することができないかもしれません。難産が発生する要因の一つとして、母牛の低栄養状態の影響があり、子牛も低栄養状態で生まれてきます。低栄養状態の子牛は、それを改善するための栄養素の蓄積は持ちあわせていません。それを改善するためには妊娠末期の母牛への蛋白質の補充が効果的です。蛋白質サプリメントなどの給与も推奨されます。もう一つの要因としては環境です。良好な乾燥した牛床で過ごした親子は、疾病の頻度が格段に低下します。

肉用牛では、乳牛ほど妊娠後期から分娩にかけての、周産期における栄養管理はなされない傾向にあります。健全な母子管理を遂行する上でも考慮すべきことだと思います。

イベルメクチンは実証済みの COVID-19 の治療薬ではない

ソーシャルメディアでは、オーストラリアの研究者が行った、イベルメクチンが持つ COVID-19 に対する抗ウイルス効果を示唆しています。しかし動物医薬品をヒトに使用することは、推奨されていません。自己投薬のために、動物用イベルメクチン製品を購入すべきではないと、FDA は警告しています。イベルメクチンは家畜や伴侶動物などの抗寄生虫治療薬として、一般的に使用されています。1970 年代に開発されたこの治療薬は、様々なヒト寄生虫病の治療にも役立っており、推定 1~30 億人の治療に現在使用されています。ソーシャルメディアを通じて流れる研究はインビトロの試験官内で行われました。通常、インビトロで効果のあった薬物は動物実験であるインビボ研究に進行します。しかし、インビトロの実験結果とインビボの効果は一致しないことが多々あります。イベルメクチンはインビトロでウイルスの広範囲の種類で抗ウイルス活性を有することが示されています。しかし、たとえば Dengue 熱ウイルスに関してインビボの臨床試験が行われましたが、その効果は認められていません。イベルメクチンが COVID-19 に対して有用であることを望みはしますが、まだそこに至る段階ではないと報じています。
(Feed Stuff news)

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく申し上げます。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QRコード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるようにQRコードを添付しました。

